

平成 29 年 近畿地区シンポジウム

# モントリオール議定書「キガリ改正」後の冷媒を展望する

主 催：（公社）日本冷凍空調学会 近畿地区事業推進委員会  
協 賛：（一社）近畿冷凍空調工業会、（一社）日本冷凍空調工業会  
日 時：平成29年 11月9日（木）10：15～16：50  
場 所：大阪市立大学 文化交流センター（大阪駅前第2ビル6階）

温暖化防止に向けた新たな HFC 削減計画が、昨年ルワンダのキガリで開催された第 28 回議定書締約国会議において、モントリオール議定書「キガリ改正」として採択されました。低 GWP 冷媒を巡って正に冷媒戦国時代が始まろうとしています。これらの課題・問題整理と現状の動向を行政・工業会・企業・学会が集まり討議したく、シンポジウムを計画しました。近畿地区シンポジウム恒例のパネルディスカッションを通じて議論を深めたいと思います。各位、奮って参加されますようご案内申し上げます。

1. 基調講演			
1-1	キガリ改正に関する対応と展開	経済産業省 オゾン層保護等推進室 課長補佐 大谷 一真	10:15～11:00
1-2	冷媒の選択と今後の動向	（公社）日本冷凍空調学会 会長 香川 澄	11:00～11:45
昼食休憩（45分）			
2. 冷媒に関する規制・規格の紹介			
2-1	国内の動向 ～微燃性冷媒の評価・ 高圧ガス保安法・JRA ガイドライン～	（一社）日本冷凍空調工業会 松田 憲兒	12:30～13:10
2-2	可燃性冷媒の国際規格動向	東芝キャリア（株） 山口 広一	13:10～13:30
3. 空調機器の次世代冷媒			
3-1	低GWP冷媒対応空調機の開発	三菱電機（株） 西山 拓未	13:30～13:50
3-2	低 GWP 冷媒を用いた ビル用マルチエアコンの性能評価	ダイキン工業（株） 熊倉 英二	13:50～14:10
3-3	低 GWP 冷媒を採用し、小容量から 大容量まで次世代ターボ冷凍機を開発	三菱重工サーマルシステムズ（株） 宮本 潤	14:10～14:30
休憩（10分）			
4. 低温機器用次世代冷媒			
4-1	R448A の製品化について	日立ゾツソコトールズ 空調（株） 宇野 正記	14:40～15:00
4-2	R407H の実機での性能評価	ダイキン工業（株） 有元 眸	15:00～15:20
5. 自然冷媒の進展			
5-1	低温産業分野でのアンモニアの利用拡大	長谷川鉄工（株） 宿口 和均	15:20～15:40
5-2	店舗機器における CO <sub>2</sub> 冷媒の利用例	パナソニック（株） 三原 一彦	15:40～16:00
会場レイアウト変更（5分）			
6. パネルディスカッション	講師全員		16:05～16:50

受講料：会 員（協賛団体を含む）13,000 円 冷凍技士 10,000 円 非会員 20,000 円

定 員：100名（定員になり次第締め切ります）

CPD #118. 4

申込先：一般社団法人 近畿冷凍空調工業会 TEL 06-6233-3201 FAX 06-6233-3202

〒541-0041 大阪市中央区北浜1-3-14 西川三井ビルディング 9階

振込先：近畿大阪銀行 本町営業部 普通預金口座 0003992 シャ）キンキレイトウクウチョウコウギョウカイ

申込方法：受講料を上記の専用口座にお振り込みのうえ、その振込票のコピーを添え、下記の参加申込書により FAXにてお申し込みください。受付次第、下記申込書に記載のメールアドレス宛に、参加券と会場案内を送信します。なお、送金された料金は返却できません（但し、代理出席は可能です）。また、当学会で開催するセミナー・見学会の参加券5枚で年次大会へ1名無料で参加できます（有効期限：開催日より3年間）。

切 取 線

NO. \_\_\_\_\_ 平成29年度 シンポジウム モントリオール議定書「キガリ改正」後の冷媒を展望する

氏 名	参加区分 <input type="checkbox"/> 主催団体会員 <input type="checkbox"/> 協賛団体会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 冷凍技士（技士No. _____）		
会社名	部署 _____		
住 所	〒 _____		
連絡先	TEL： _____（ _____ ）	FAX： _____（ _____ ）	
	Email： _____		

※振込票のコピーを添付して下さい。